

これからの学術情報共有プラットフォーム

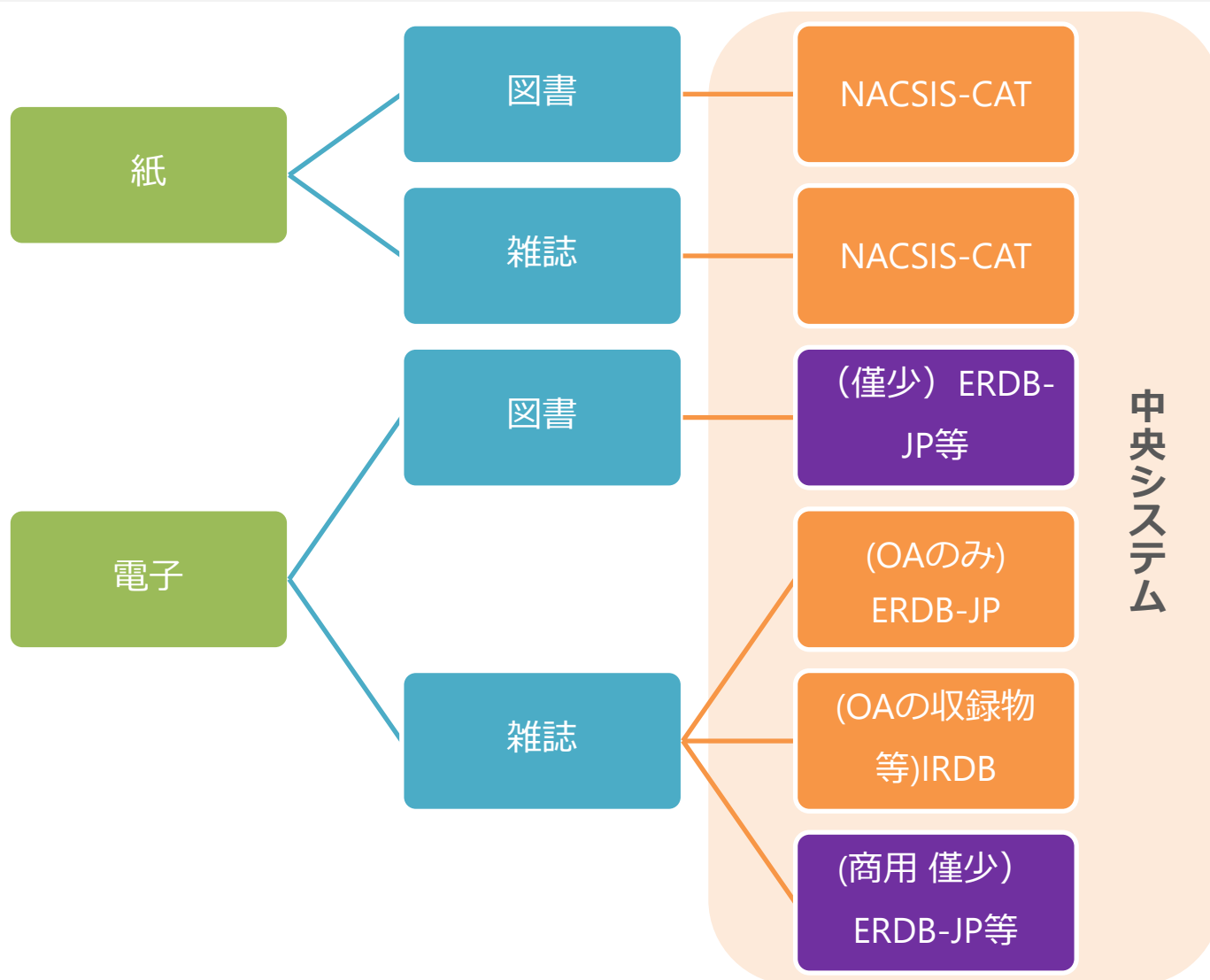
「中央システム」の将来像

これからの学術情報システム構築検討委員会・佛教大学図書館 **飯野勝則**

「中央システム」とは

- 各機関で必要となるデータや機能を、国やコンソーシアムレベルで一元的に管理・運用するシステムのこと。国立情報学研究所が運用する **NACSIS-CAT/ILL**, **IRDB**, **ERDB-JP**等が該当する（『これからの学術情報システムの在り方について（2019）』より）
- 日本国内のさまざまな学術情報を集約し、共有するためのシステムであり、研究や教育に貢献しうる「**学術情報共有プラットフォーム**」
 - 「中央システム」で集約したメタデータは、**CiNii Books**等や各機関で契約している商用の**ウェブスケール・ディスカバリ・サービス**などで共有可能
 - 現状では「電子」の学術情報は、**オープンアクセス（OA）**のものを中心に集約し、共有している状況

「中央システム」における集約・共有の現況



国内で提供される商用の電子ブック・電子ジャーナル

Maruzen eBook Libraryは、学術書籍に特化した機関向け電子書籍配信サービスです。

BIRD 佛教大学附属図書館

高山正也・橋本貴夫 監修
現代図書館情報学シリーズ...9
三訂

情報資源組織論

田窪 直規
[編著]

樹村房

トップへ 戻る

情報資源組織論 3訂 (現代図書館情報学シリーズ 9)

閲覧

著編者 田窪
出版社/提供元 樹村房
出版国 日本
言語 日本語
出版年 2020
ページ数 17p.
ISBN 9784
eISBN 9784
ジャンル 総記
NDC分類1 014
NDC分類2 -
NDC分類3 -
NDC分類4 -
コンテンツID 3000
リンク シリ

内容

司書養成課程へ向け

医学論文をダウンロード 医療の総合ウェブサイト
Medical*Online

▶はじめての方へ ▶ヘルプ ▶お問い合わせ ▶サイトマップ

ホーム 文献 電子書籍 くすり プロダクト 医学書販売

最新情報・特集 ライブラリサービス E-Books 医薬品検索 医療機器・関連サービス検索 メディカルブックセンター

キーワード検索 タイトルで探す 分野で探す 配信学会・出版社で探す ガイドライン

ホーム > 文献 > バックナンバー

文献を検索 20 件ずつ表示 検索 オプション検索 アラート設定

検索のヒント ご注意事項

バックナンバー：新薬と臨床

発行元： 医薬情報研究所
ISSN： 0559-8672
ISSN (オンライン)：
旧名・別名：
新薬と臨床

▶ 投稿規程
▶ バックナンバーリストへ
▶ 分野別リストへ

【運動器エコーを整形外科診療・リハビリ・スポーツ現場で活用】汎用超音波画像診断装置「ポケットエコー miruco」の臨床エピソードを公開
dev.medicalonline.jp (メディカルオンライン プロダクト エピソード)

絶大なる信頼を得た点数表書籍の決定版。『医科点数表の解釈 令和2年4月版』
www.molcom.jp (メテオ・メディカルブックセンター)

※特定の雑誌を巻号まとめて大量にダウンロードすることは禁止しております。

年	Vol. / No.
2020	69-1 69-2 69-3 69-4 69-5 69-6 69-7 69-8 69-9 69-10 69-11 69-12
2019	68-1 68-2 68-3 68-4 68-5 68-6 68-7 68-8 68-9 68-10 68-11 68-12
2018	67-1 67-2 67-3 67-4 67-5 67-6 67-7 67-8 67-9 67-10 67-11 67-12

ようこそ 佛教大学 様

ID : IP認証
会員種別 : 法人会員
プラン種別 : フリーアクセスプラン

[料金表を見る]

MYページログイン MYページ新規登録

[MYページとは?]

ログアウト

大日本住友製薬

知っておきたい

現状のCiNii Books

CiNii Articles Books Dissertations Bukkyo University Sign Up Login

Book & Journal Author Content

三訂 情報資源組織論 Search

Books and Journals Books Journals Advanced Search

Notice of renewal procedure of institution authentication

情報資源組織論

田窪, 直規
タクボ, ナオキ

飯野, 勝則
イイノ, カツノリ

小林, 謙隆
コバヤシ, ヤスタカ

原田, 啓子
ハラダ, トモコ

山崎, 久道
ヤマザキ, ヒサミチ

渡邊, 勝弘
ワタナベ, タカヒロ

Related Books: 1 ↓

Bibliographic Information

情報資源組織論
田窪直規編著; 飯野勝則 [ほか] 著
(現代図書館情報学シリーズ / 高山正也, 穂松貞夫監修. 9)
樹村房, 2020.3
3訂

Other Title 三訂情報資源組織論
Title Transcription ジョウホウ シンゲン ソシキロン

Available at 74 / 74 libraries

Any Areas Any Libraries OPAC Links

佛教大学 附属図書館
200767450 OPAC

Aichi Catholic University Library and Information Center OPAC

情報資源組織論
Google Books

Details

NCID : BB3053014X
ISBN : 9784883673391
Country Code : ja
Title Language Code : jpn
Text Language Code : jpn

CiNii Articles Books Dissertations Bukkyo University Sign Up Login Japanese

Book & Journal Author Content

新薬と臨床 Search

Books and Journals Books Journals Advanced Search

Notice of renewal procedure of institution authentication service

新薬と臨床

新薬と臨床社
シンヤクトリンショウシャ

Details

NCID : AN00123518
ISSN : 05598672
Country Code : ja
Language Code : jpn
Text Language Code : jpn
Place of Publication : 東京
Publication Status : Currently Published Status
Frequency : Monthly
Regularity : Regular
Type of Continuing Resource : Periodical

Bibliographic Information

新薬と臨床
新薬と臨床社
1巻1号 (昭27)-
Other Title Journal of new remedies & clinics
新薬と臨床
Title Transcription シンヤクトリンショウ

Available at 163 / 163 libraries

Any Areas Any Libraries OPAC Links

愛知医科大学 総合学術情報センター 1952-1998
1,2(1-7),3(1,5-8,10-12),4-47 OPAC

愛知学院大学 歯学・薬学図書館情報センター 歯薬図 1954-2017 (intend)
3(9-12),4(1-9,11-12),5(1-6),7(7-10),8(2,4-12),9(1-4,7-8,11-12),10-66+ OPAC

検索対象は、「紙」の書誌がある資料のみ

「電子」の学術情報の集約と共有へのニーズ

- **コロナ禍**でのリモートアクセスの増加等で、世界的に「電子」の学術情報に注目があつまっており、日本も例外ではない
 - 特に、日本国内で生産された**日本語**の「電子」の学術情報を集約し、提供することは、国内の人文社会系の研究者や学生、海外の日本研究者にとって大きなニーズ
 - 加えて、商用の「電子」の学術情報に付随する「使い方」を定めた**ライセンス**情報を共有することは、**ILL（リソースシェアリング）**の際に重要
- OAの進展により、Googleなどでの検索が可能になっているコンテンツも増えたが、ハゲタカ雑誌やハゲタカ図書など、初学者を惑わすような情報も増加しており、信頼性の高い「電子」の学術情報を学術機関において共有できる仕組みが望まれる

中央システムの一部として、「紙」の目録であるNACSIS-CATと並立する、必要かつ十分なメタデータを集約した「電子」の目録が必要

「電子」の目録をどう構築するか

出版社との協力

- 大学図書館での人的リソースの不足などの状況を鑑みると、「電子」の学術情報の集約や共有に労力を費やす**余裕はない**
 - NACSIS-CATですら軽量化・合理化を進めてきた状況
- **海外の事例**に習い、出版社が販促等のために、取次や書店向けに作成する**流通系メタデータ**を利用し「電子」の学術情報を集約
 - 流通系メタデータの特徴から抄録や目次データを含む、豊かなメタデータを検索用の書誌データ等として利用できる可能性がある
 - 出版社から流通開始と同時期にメタデータの入手ができるようになれば、図書館の発注・受入業務の軽減にもつながる

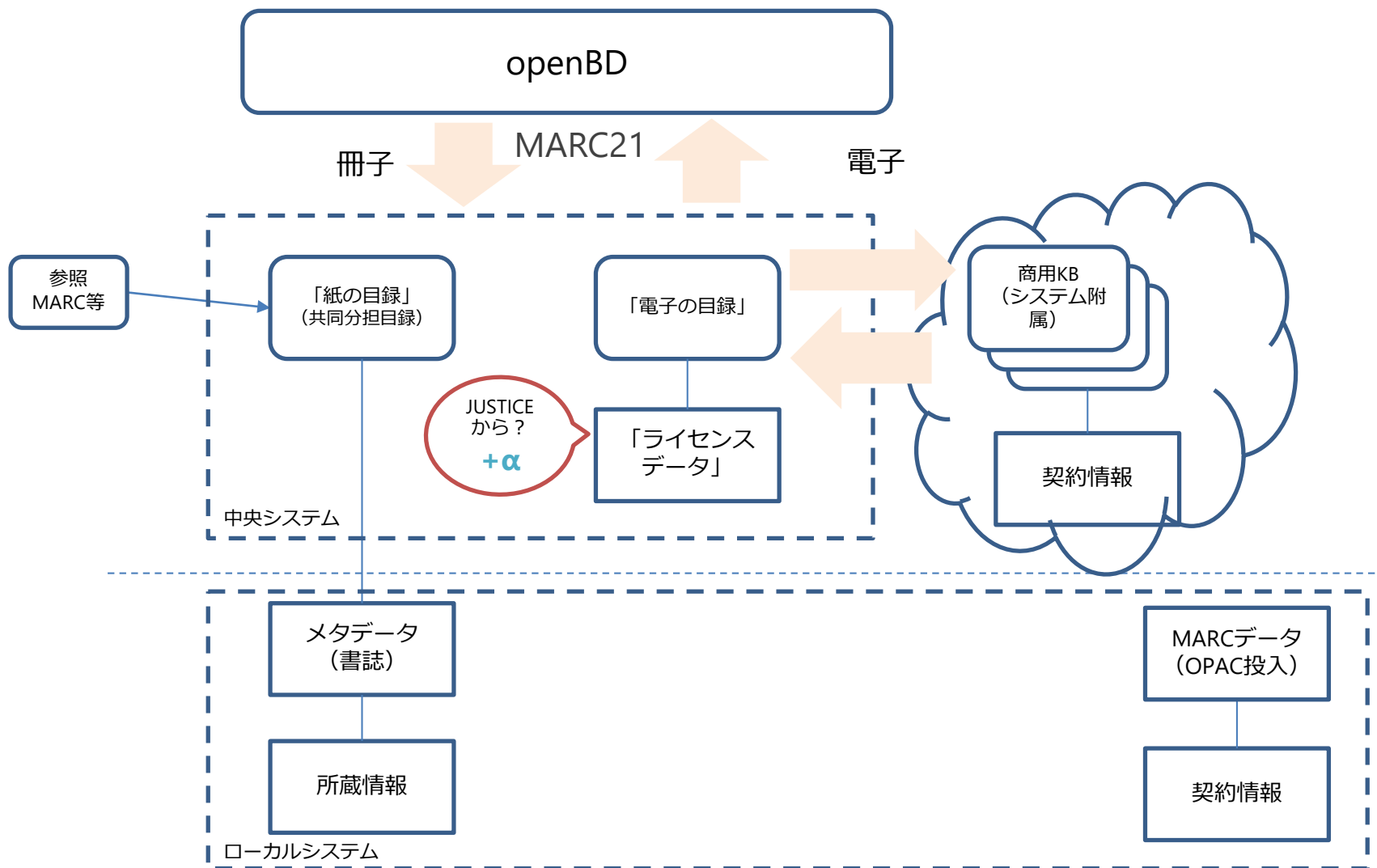
openBD

書誌情報・書影を自由に

- 版元ドットコムに登録している中小**出版社**400社の書誌データとJPRO（出版情報登録センター）に直接登録している**出版社**のデータが集約されている（JPRO-onix/JSON）
- 現在、取次を通過した本のJPRO掲載率は86%（2019年度）だが、取次の電子化により今後100%近くなるということで、さらなる集約が期待される
- **電子書籍取次**大手のメディアドウの電子ブック等のデータが入る予定

これから委員会の**作業部会**が、openBDとは交渉を開始している状況

openBDに期待されること



「電子」の目録におけるメタデータのあり方

- 「電子」の目録の書誌データでは、WorldCatなどで行われているような、グローバルに共有される領域とローカル領域を分離して扱うことで、全機関に対する修正を即時反映できることが望ましい（修正の「共有化」）
- 所蔵データに当たるアクセス情報（URI）については、さまざまなプラットフォームから収集する必要がある、それをOpenBDからのメタデータと結合させて活用できる仕組みが求められる
- ライセンスデータは「電子」の書誌データとの紐づけ（リンク）が必須であり、デフォルトではグローバルに共有されるライセンスデータに紐づきつつ、JUSTICEコンソーシアムや、プラットフォームの考え方などに合わせて変更できるような機能が必要
- JPROでは「紙」に対して「著作権」というライセンスデータの管理を始めており、openBDで出版社が考える「グローバル」なライセンスデータを収集できる可能性もある


「電子」の目録の進展がもたらすもの

図書館と利用者の視点から

図書館業務の省力化

- 「電子」の目録の書誌データが、openBDの**目次データ**や**抄録**を十分に反映し、かつ海外の書誌データのように水準の高いものになれば、グローバル領域の書誌データを**修正**する必要はなくなる
- 「電子」と「紙」は形態（体現）が違うのみで、情報の**本質は同じ**であるという考え方を踏まえれば、こういったリッチで高水準の書誌データは「電子」と「紙」の目録のいずれにおいても活用できるようになり、図書館はローカル領域のデータ設定のみを行えば十分という状況が生まれる
- これにより、図書館は「中央システム」が用意する「紙の目録」と「電子の目録」のグローバル領域のデータを触ることなく、**そのまま**自館の目録として利用できるようになる

マイクロコンテンツ（図書チャプター等）のレコード化

 お気軽検索

3-319-54341-5

  新規検索 詳細検索

✕ フィルターをクリアにする

絞り込み

本文あり（一部例外を含む）

査読あり

オープンアクセス(OA)

佛教大学蔵書（OPAC）

資料タイプ ▾

図書論文 / 章見出し (14) ✓

図書 / 電子ブック (2)

データベース(ソース) ^

新規登録レコード ^

発行年月日


from

to

過去

過去1年間

この雑誌内を検索 : Famines During the 'Little Ice Age' (1300-1800)

適合度 ▾ 順による結果14件 

☐ 学内提供サービス以外を追加

1

オンライン



Starvation Under Carolingian Rule. The Famine of 779 and the Annales Regni Francorum

: Ebert, Stephan

Famines During the 'Little Ice Age' (1300-1800), 08/2017


How vulnerable was the Frankish society to famines in the Early Middle Ages? Modern concepts of vulnerability and resilience are mainly used to describe...

図書論文 / 章見出し 本文あり（一部例外を含む）

プレビュー ▾

2

オンライン



Combining Written and Tree-Ring Evidence to Trace Past Food Crises: A Case Study from Finland

: Huhtamaa, Heli

Famines During the 'Little Ice Age' (1300-1800), 08/2017

The lack of written source material on population and food availability has hindered studies on medieval and early modern food crises in many parts of the...


図書論文 / 章見出し 本文あり（一部例外を含む）

プレビュー ▾

SCOPUSSM

1

openBD由来の「電子」の目録の書誌レコードが、目次レベルの情報を有する場合、チャプターレベルのレコードを機械的に作成し、共有することも可能になる

 佛教大学図書館

14

「中央システム」をベースとするウェブスケール・ディスカバリ・サービスの提供開始

Log In | My Account | My Lists | Library Information | Select Language | ?

Simcoe County EBSCO Discovery Service

1618216 Results Found

Limit Search Results

Expanded by: Also search within the full t...

Narrowed by: Available in Library Collection

Expanders

Apply related words

Apply equivalent subjects

Limiters

Peer Reviewed

References Available

Published Date

Source Type

Magazines (384853)

Academic Journals (338897)

News (267167)

Reviews (60000)

Books (14970)

Subject

nonfiction (64654)

fiction (36118)

automobile industry (14315)

Collingwood Public Library

A Visit Will Get You Thinking. About Us | Location & Hours | Contact Us

Collingwood EBSCO Discovery Service

932608 Results Found

Limit Search Results

Expanded by: Also search within t...

Narrowed by: Available in Library ...

Expanders

Apply related words

Apply equivalent subjects

Limiters

Peer Reviewed

Published Date

Source Type

News (252652)

Magazines (205764)

Academic Journals (24103)

Reviews (20756)

Books (7574)

「中央システム」が各参加館に対して個別の**インスタンス**（検索画面）を用意することで、「電子」と「紙」の目録を統合的に検索するサービスは**ウェブスケール・ディスカバリ・サービス**となる（カナダのCounty of Simcoe Library Cooperativeコンソーシアムなどですでに実現）

ILL（リソースシェアリング）の進化

- マイクロコンテンツの検索結果から、ILLへシームレスにつながる仕組みを作ることで、より正確なメタデータを取り込んでの申請が可能となる
- （図書館と出版社が望む）ライセンスデータを明示し、その内容をシステム側に反映させることで、ILLができるもの、できないものの判別が可能となる
 - これにより、海外と同様に利用者が所属する図書館の手を介さない
Unmediated形式のILLの実現につなげることができる
 - 出版社と協力し、ILLと併せてコンテンツそのものの**販売**や**STL**などを提供することで、文献入手の多元化を進めることができる

理想の実現のために必要なこと

ODI: Open Discovery Initiative

Open Discovery Initiative = ODI

(オープン・ディスカバリ・イニシアティブ)

- 米国情報標準化機構（NISO）の賛助により運営される常設委員会
- 図書館, ウェブスケール・ディスカバリ・サービスのプロバイダ, 出版社の三者が**共生関係**にあるものとして, それぞれから選出された委員によって構成
- ウェブスケール・ディスカバリ・サービスに関するデータや技術に関するさまざまな指針を示している

ODIに習って

- 図書館と「中央システム」の運営主体、出版社は共生関係になることが、学術情報流通の視点からは望ましい
- 出版社との協力を進め、openBDのデータの高水準化や図書館の望むメタデータの提供を積極的に行ってもらえることが必要
- そのためには、高水準な書誌データを共有することが出版社にとって有益であると認識してもらわねばならない
 - 「中央システム」が提供する目録の検索サービスに、STLやデータ販売の道を用意することや、「中央システム」の利用統計をビッグデータとして三者で共有していくといった姿勢が、図書館や「中央システム」の運営主体に求められる
 - また高水準な書誌データが共有されることで、世界中に販路が広がることや、学術分野における日本の存在感を高めることができるということに、共感していただくことが必要

ご清聴ありがとうございました